

926 町村が光り輝く社会こそ貴い国の宝

全国町村議会議長会会長 櫻井 正人

本日、ここに、全国町村長大会がかくも盛大に開催されるにあたり、全国の町村議会議長を代表いたしまして一言お祝いの言葉を申し上げます。

はじめに、町村長の皆さまには、日頃から、町村行政の中枢にあって、住民福祉の向上と地域の発展のため、日夜、献身的なご努力と情熱を傾けておられることに心から敬意を表しますとともに、全国町村議会議長会の活動に対し格別のご高配を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。

我が国は、その地理的条件から、歴史上、幾多の大地震に見舞われておりますが、その都度、先人たちは、辛い体験を教訓として、知恵を絞って災害対策を上書きし、いつ起こるかもしれない自然災害に備えてまいりました。

本年も大阪北部地震、北海道胆振東部地震が発生し、国民の中に、地震に対する恐怖心や警戒心が再び増大しています。特に北海道ではその全域がブラックアウトとなるなど想定外の二次災害も発生しており、あらゆる事態を想定しての災害対策を講じることの重要性が再認識されました。

住民の安全と生活を守ることは、我々地方自治に携わる者にとっての命題であります。被災地における復旧・復興予算の確保はもとより、防災・減災対策に主眼を置いた大規模災害対策の確立に向け、町村長の皆さまとともに行動してまいりたいと考えております。

私たち町村は、かねてより国民生活を支えるため、自然豊かな故郷を守ることに全力を傾注してまいりましたが、市町村合併によりその数は激減し、自立を選んだ町村においても、人口流出、過疎化、高齢化が歯止めなく進み、近い将来、生まれ育った町や村が消滅してしまうのではないかという危機意識が醸成されつつあります。

これに対しては、地方の創意工夫を生かした個性と魅力あふれる地域づくり

を、国が後押しする「地方創生」により克服しようとしている真只中であり、明年度は、第一期総合戦略の最終年度という節目にあたります。

この機を捉え、国においては、5か年の総点検をしっかりとしたうえで、各地方自治体が、満を持して第二期総合戦略へとステップアップできるよう、情報、人材及び財政の各方面でしっかりと支援していただきたいと存じております。

「一隅を照らす、此れ則ち国宝なり。」

これは日本天台宗の開祖である最澄が残した言葉であります。

全国926の町村に一点も曇りがあってはなりません。もしそこに曇りがあれば、慈愛の心をもって、一筋の光を差し込む、これが真の政治家の使命であります。

926の町村がひとつも欠けることなく、明るく光り輝くことのできる社会こそが、何物にも変えがたい貴い国の宝となりましょう。

町村とは、「有為転変」の行政区分ではなく、「悠久不変」の魂の拠り所なのであります。

我々町村会議長は、自主・自立の精神をもって議会改革に努め、住民の信託に応えられる議会を構築してまいり所存でありますので、町村長の皆さまも、荒木会長のリーダーシップの下、一致団結して困難な行政課題に取り組んでいただき、お互いに手を携えて、未来に向かって明るく逞しい町村を創生してまいりましょう。

終わりに、全国町村会のさらなるご発展とご参集の皆さま方のご健勝とご活躍をご祈念申し上げまして、私の祝辞とさせていただきます。